

て；①第2回国際会議への日本からの提出論文について，②今後の提出論文に対する具体的な審査方法について，③国際会議，シンポジウム等の日本開催について，④ Commission について，⑤ 事務連絡事項について。2) Rock Mechanic in Japan (英文, 仮称) の作成について。3) 岩の力学国内シンポジウムの開催について。

支 部 だ よ り

◎関東支部

(1) 第1回幹事会 (44.4.9, 土木学会) 出席者: 松井支部長, ほか 12名。

(2) 役員会 (44.4.26, 土木学会) 出席者: 松井支部長, ほか 15名。

(3) 第6回通常総会 (44.4.26, 土木図書館講堂)

出席者: 30名

次 第: ① 支部長あいさつ

② 昭和 43 年度事業報告および決算報告の承認

③ 昭和 44 年度事業計画および予算の報告

④ 商議員改選の承認

⑤ 新役員の紹介

⑥ 新支部長あいさつ

(4) 全国大会実行委員会 (44.5.21, 土木学会) 出席者: 小林委員長, 松井相

談役, ほか 9名。

(5) 全国大会講演部会 (44.5.23, 土木学会) 出席者: 内藤副部长, ほか 9名。

(6) 第2回幹事会 (44.6.25, 土木学会) 出席者: 小林支部長, ほか 16名。

(7) 昭和 44 年度役員

支部長 小林 元橡 関東地建
幹事長 増村啓一郎 同
商議員 山門 明雄 法 大

三浦 晃 日 大
奥村 敏恵 東 大
竹内 俊雄 東工大
木村 三郎 建設省
今井 勇 建設省
川崎 精一 建設省
浮穴 和俊 東京都
木内 政敏 運輸省
島田 隆夫 国 鉄
坂 芳雄 国 鉄
垣谷 正道 電力中研
川嶋 賢一 東京電力

北山 昇 道路公団
高橋 敏夫 西松建設
佐用 泰司 鹿島建設
諸岡 辰雄 間 組
樺島 正二 奥村組
大串 満馬 住友建設
市田 洋 清水建設

(以上 44 年度まで)

森 麟 早 大
村田 二郎 都立大
田島 喜好 茨城県
斎藤 正男 栃木県
堀江 正水 埼玉県
八乙女盛男 千葉県
後藤 明治 国 鉄
西田 正之 国 鉄

菅原 操 国 鉄
前田 実 電源開発
西野祐治郎 首都高速
浜 建介 鉄道公団
安藤 正人 帝都高速
巖真 温 水資源公団
鈴木 喜三 八千代エンジンヤリ

平井信一郎 五洋建設
石井 寛輔 三井建設
小松原 豊 日本国土開発
渡辺 忠雄 渡辺組

(以上 45 年度まで)

幹 事 三野栄三郎 建設省
土居 則夫 国 鉄
中村 正平 首都高速
猪瀬 二郎 帝都高速
権貝 博美 東工大
鷲森 喜重 京業工高
水田 正男 小石川工高
有山勇次郎 東京都
高橋 淳一 千葉県
清野 茂次 オリエンタルコンサルタンツ

(以上 44 年度まで)

金屋敷忠義 建設省
近藤 徹 建設省
高田 陸朗 運輸省
高橋 由行 道路公団
安原 明 鉄道公団
小林 信寛 水資源公団
森本 時夫 電源開発
根岸 博 栃木県
小林 洵 神奈川県
小菅 正道 山梨県
丸山 三夫 佐藤工業
町田 恭二 熊谷組
千葉 博敏 日本舗道
井畔 瑞人 清水建設

(以上 45 年度まで)

編 集 後 記

残暑厳しきおり, 暑中御見舞申し上げます。最近, テレビや新聞にわれわれは, 災害や事故の記事を見ない日はなく, その内容も多様化し, 社会におよぼす影響も深刻化していると思われます。

震災や水害などの自然災害を注目してみますと, それが一度限りにおいては, 天災であるともいえましょう。しかし, 同じ場所で同じような災害が繰り返される場合は, もはや天災でなくて人災ではないでしょうか。こういった災害は, 現代における人類の科学技術をもってすれば, もはや避けられるはずであると思います。しかし現実には, 毎年災害は繰り返され被害が発生しています。

一方, 大都市における災害は, 自然災害ばかりでなく, 火災, 交通災害などのように都市構造そのものが造りだす災害も顕在化してきました。特に, 最近の過密化は, 都市災害ともいえる新たな災害を激化させており, たとえば最近発生した東京の板橋におけるガス爆発事故は,

まだわれわれの記憶に新たらしいところでありませう。

このように都市のいたるところで進められている近代化のための建設工事が, 皮肉にも市民を日夜, 前近代的な事故, 災害という危険にさらしているのも事実であります。

以上災害一つ取り上げましても, 背景にある安全性という基本的な命題は, われわれ土木技術者と深い相関関係があります。今後土木技術はますます専門化, 高度化され, これからの高密度経済社会に貢献する度合も増大するでありませう。しかし一方においては土木構造物についての社会的責任も重くなるのは必須であると思われませう。

このようなことを踏まえまして今月号は, 安全性について種々の角度から考察してみました。その結果, 会員の皆様が安全について, 再確認していただければ, 編集委員一同の幸いとするところであります。(旭 一穂・記)

土木学会誌編集委員

委員長	森 茂							
委員	阿部博俊	加藤正晴	神田創造	菊川哲士	齋田 登	齋藤健次郎	坂本健次	
	沢田健吉	杉山好信	高尾孝二	富田 勇	豊島 修	鳥居敏則	新谷洋二	
	西山友昌	丹羽俊彦	布目恵造	藤重邦夫	矢部正宏	山本弥四郎	吉田良和	
	若木三夫							
	(北海道支部)	(東北支部)	(関東支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中国四国支部)	(西部支部)	
	五十嵐日出夫	福田 正	猪瀬二郎	河村三郎	井上頼輝	門田博知	原 欽吾	
	高橋 毅	沼田 淳	小田純夫	松浦 聖	樺木 亨	藪本健作	彦坂 照	
委員兼幹事	及川 陽	片山恒雄	渋谷祥夫	横山義雄				

会員の入退会について(昭和44.6.1~6.30)

入会	472名	(正 141 学 325 特1D 3 特2 3)
復活	9名	(正 7 学 2)
退会	28名	(正 24 学 4)
死亡	3名	(正)
転格	21名	学→正 16 正→学 5

特別会員の入退会

○ 入 会				
昭和 44.6.20	特1D	浦賀重工業(株)橋梁設計課	横須賀市西浦賀町 4-25	
" 44.6.25	"	建国大学校図書館	韓国ソウル特別市城東区長安洞 93	
" "	"	建設者中部地方建設局 天竜川上流工事事務所	長野県駒ヶ根市赤穂北下り 2485	
" "	特 2	大谷技術短期大学農業機械科	富山県水郡小杉町黒河	
" 44.6.20	"	金井学園図書館	福井市学園町 20	
" 44.6.25	"	兵庫県立篠山産業高等学校土木科	兵庫県多紀郡篠山町東浜谷 600-1	

会員現在数

名 誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特1A	特1B	特1C	特1D	特2	合計	前月比(増)
67	21 867	5 799	30	19	16	56	210	349	79	28 492	(450)

正会員	津々良 武正君	竹中土木(株)	昭和 44.5	57才
"	松 沢 茂君	東亜コンクリート(株)設計部設計課長	" 44.6.5	38才
"	倉 淵 清君	和歌山県土木部道路課	" 44.5	27才

昭和44年8月10日印刷

昭和44年8月15日発行

土木学会誌 第54巻 第8号

印刷者 大沼正吉 印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂 1-3-6

口絵写真印刷者 若林孟夫 口絵製版印刷所 佛若林原色写真工芸社

東京都港区芝金杉川口町 20番地

発行者 羽田 巖 発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定 価 250円(送料30円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130(編集直通)・5138・5139番

人工軽量骨材コンクリート

京都大学教授・工学博士

岡田 清 監修

—土木構造物への応用—

高速道路網，高速鉄道網および港湾，空港にいたる土木構造物は，時代に即応するため，大型化・巨大化の一途をたどり，それに答える新しい工法，新しい構造材料の開発も日進月歩である。人工軽量骨材コンクリートも近年急速に開発・研究が進められ，本格的生産が始められている。本書はその研究ならびに実際構造物のデータを基に，わが国における人工軽量骨材の特性，コンクリートの諸性質，その問題点，構造物設計施工の実例，軽量コンクリート構造の経済性，将来性などをわかり易く解説したものである。

A5判 268頁

定価 1500円

最新刊発売中

排水設備ハンドブック

東京都下水道局 編
排水設備研究会

下水道事業，建築排水設備工事，また各種工場における排水除害施設工事は人口増加や公害問題もからんで，全国各都市での急務であることは周知のとおりである。しかしながらこれらに関する成書は数少なく，とくに排水設備全般にわたる現場技術者のための実務書は皆無であった。

本書はこうした時機にあたり，広く下水道事業，排水設備工事にたずさわる人々，とくに各市町村の排水設備工事店の人々のため，工事の設計から書類の書き方に至るまで懇切に解説し，完璧を期した。また付録に関係法規や書類の様式などを掲げ，読者の便をはかった。

A5判 430頁

定価 2000円

最新刊発売中

土木建築耐震設計施工

金多・後藤・竹村・畑中・山田・渡辺 共著

[好評発売中]

本書は，土木・建築両分野を共通的にみて耐震設計施工に必要な基礎理論とその実際への応用に重点をおき，実務家および若い研究者のために，最近の理論や実際にもふれ，高級な理論も平易に解説した。また，実務的な計算例・設計例・参考資料表・公式集・文献なども豊富にとり入れ紹介している。

★A5判490頁 定価3000円

朝倉土木工学講座(全22巻・既刊6冊)

井島・井口・岡田・春日屋編 価 1100~1500円

建築材料ハンドブック

棚橋 諒編 価 5000円

土木建築基礎工学ハンドブック

村山朔郎・大崎順彦編 価 4500円

コンクリート工学ハンドブック

近藤泰夫・坂 静雄監修 価 5800円

ギャーラーメンの実用的解法

金多 潔・金多由紀子訳 価 2400円

道路に適用する土質工学入門

西田義親訳編 価 900円

東京都新宿区
新小川町2-10

朝倉書店

振替口座 東京8673番

〈理学・工学図書目録進呈〉